

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

山間地における 自主学級活動への支援

4.5

- 2 トピックス 全国公民館研修セミナー開催
- 3 視点 人とのかかわりを大事に
- 3 ひろば 支えあい、思いやる心を育む
- 6 実践記録シリーズ 「ときめきめぐりあい推進事業（婚活支援）」を公民館で取り組む
- 7 サークル交流 一本の糸から（新潟市）/ 楽しい健康づくり（阿賀野市）
- 7 素顔拝見 蝶名林正身さん（三条市）/ 加藤 了さん（五泉市）



関川小学校 はじめての冬

表紙解説
昨年春に統合によってできた村唯一の小学校。
子どもたちは厳しい冬空の中、それぞれの家に帰っていきます。

全国公民館研修セミナー開催

1月26日～28日、東京・代々木オリピック記念青少年総合センターで公民館職員のレベルアップを図る「公民館全国セミナー」が開催されました。参加者は全国から73人で、新潟県からは最多人数の7人が参加しました。

「これからの公民館はあなたが創る」を研修テーマに熱気あふれた研修会になりました。詳細は、参加者のレポートとして3月号に特集として掲載されます。【執筆予定 高橋理彦・上越市公民館 棚橋祐介・新潟市中央公民館】



参加者の7人

下公連第3回代議員会開催

2月1日、下越教育事務所下越地区公民館連絡協議会第3回代議員会が開催されました。今年度最後の代議員会で事業報告や会計報告の後、来年度の主要事業が審議されました。特に、来年度の県公民館大会は下越地区が主管で佐渡市を会場に開催されること。この大会は下越地区公民館関係役員等研修会と合同で開催されることが確認されました。(7月15日・両津文化会館で開催予定)

県大会の開催要項については、今回の開催案が2月22日に開催される県公民館連合理事会・評議員会で提案され正式に決定される予定です。

関プロ新潟大会の準備

平成25年度の関東甲信越静公民館研究大会は新潟県が開催地です。すでに県公民館連合会の理事会・評議員会で承認され、主管を中越地区が行うことになっています。それに伴い、開催に向けての準備

会がすでに始まっています。準備委員は

中公連会長、南魚沼市中央公民館長・担当者、湯沢町公民館長・担当者、県公連事務局長、中公連事務局長
で構成され2月15日に第3回の準備会が南魚沼市公民館で開催されます。

これまでに審議されたこと
開催期日 平成25年8月29・30日

開催会場 南魚沼市公民館他
分科会場は公共施設を使用する。

宿泊地 南魚沼市、湯沢町
今後は、3月に実行委員会を立ち上げ、5月から実行委員会の活動が始まる予定です。

「新潟県公民館月報」電子データ化推進事業

本誌はまもなく創刊以来700号になります。昭和28年が第1号で、この初期から40年代のものは紙質が劣化して保存が困難になっているこ

とから、このたび全国公連の支援を得て電子データ化をすることになりました。初年度は200号までをめどに、次年度からはそれ以降を計画的に実施していきます。また、データをホームページに掲載して公開することも考えています。



BOOKS INFORMATION

文部科学省発行 「公民館」 Kominkan

わかりやすい紹介パンフレット 日本版と英語版

公民館



問い合わせは 新潟県公民館連合会事務局まで

〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内

電話・FAX 025-224-6073 E-mail ni-koren@juno.ocn.ne.jp

視点

人との かかわりを大事に



新発田市立藤塚小学校長 荒木 一成

平成三年、豊栄市、水原町、京ヶ瀬村、笹神村、安田町で運営する(のちに、豊浦町が加わる)五頭連峰少年自然の家に派遣社会教育主事として赴任した。公民館の方々との直接的なかわりはここからスタートした。

構成市町村の小学校五・六年生対象の少年少女リーダー研修会(宿泊キャンプ)が、年四回実施され、指導者には各公民館職員があたった。

ここでの公民館職員の姿から、社会教育では参加者をいかに楽しく学ばせるかが大事で、それには自分にも楽しむ力が必要なることを痛感した。

この経験は、県少年自然の家での不登校対策事業「はつらつ体験塾」のプログラム開

発に生かされた。子どもは、人と活動に魅力がなければ参加しなかつたので、事業評価は一目瞭然だった。

その後、県立生涯学習推進センターと県生涯学習推進課でも、講師や各種委員等の依頼など公民館の方々とのネットワークを生かした。何か手がけるときに、何枚の人材カードを持つているかが成功の鍵になると実感した。

昨年は、新発田市周辺の生涯学習・社会教育に関心のある教員に声をかけ、行政職員等との情報交換会を二回開催し、連携の在り方を探った。

今後とも人とのかわりを大事に、学社連携・融合による学校づくりを模索していきたい。

H O T N E W S

掲 示 板

公民館海援隊プロジェクト

平成22年5月、文部科学省が「公民館による、地域や住民の様々な課題解決支援」と「公民館を拠点とする<新しい公共>の実現」を目指して立ち上げた。

全国の公民館から25公民館がプロジェクトに参加していて、新潟市北地区公民館も選ばれている。

明日の新潟を築く具体的な手立てがここに！

信頼 誇り
ネットワーク
市民主権都市

2.19(土)

公民館海援隊シンポジウム

新潟市北地区公民館 15:00 会場 15:30 開演 16:40 終了
無料

基調講演 「地域主権と社会教育」
講師: 鈴木 寛氏: 文部科学副大臣

シンポジウム 「市民主権都市を実現する公民館」

- シンポジスト
- 鈴木 寛氏: 文部科学副大臣
 - 神代 浩氏: 国立教育政策研究所 教育課程研究センター長
 - 藤田 嗣新潟市長
 - 吉田 博彦氏: NPO 教育支援協会代表理事
- コーディネーター

1 ● 新潟市北地区公民館 & 新潟市豊栄地区公民館
☎025-387-1781 ☎025-387-2014

ひろば

支えあい、思いやる心を育む

阿賀町公民館運営審議会委員 安藤 恒

子どもたちが屋外で遊んでいる姿が見られないと云われて幾久しい。それでは子どもたちは学校の休みの日は「主になにをしているのか」と問いかけると、異口同音に「ゲーム」と答えが返ってくる。

確かに家の中のゲームなど一人で遊んでいけば誰にも文句を言われなくていいし、喧嘩もしないから一番楽である。このようなことから、今、子どもたちの人間関係が大変希薄になつてきているといわれている。(これは大人社会においても同様である)

さて、このように一人でいることが多い子どもたちにお互いに顔の見える集団での活動をさせることが重要であると考え、阿賀町で



は、自然を生かした体験活動を推進している。一例をあげると、草木を使った物作り活動である。おもな材料は、スタツフが準備したが、あとは子どもが歩きながら集めてきた。それらの材料を使ってグループごとに作業。イタデを使って笛を作るグループ。風車を作るグループなど。このような集団活動を通して人間関係を作っていく体験をさせることが、今、大変大切だと考えている。

自主学級活動への支援

～上越市牧区冬季出前学級～

配布された後、各学級において、活動の目標と計画が相談されます。回数にバラつきはありますが、大体10回程度の活動で、主な内容は、健康体操、料理、手芸などです。

(3) 開講式 (12月上旬) 会場：地区公民館

各学級から数名が出席し、実施計画書を提出します。今年度は、開講式終了後、クリスマスリースを作成しました。

(4) 各グループでの活動 (12月～3月)

各集落の公会堂、活性化センターなどの集会施設において、活動が行われます。

(5) 交流会 (3月上旬) 会場：地区公民館

各学級から数名が出席し、体験学習活動を行い、交流を図ります。今年度は、合唱と調理実習を予定しています。交流会を行うことで、他学級の活動状況の情報交換ができます。

(6) 閉講式 (3月中旬) 会場：地区公民館

各学級から数名が出席し、閉講式を行います。今年度は郷土史についての講演会が予定されており、終了後に閉講式を行います。

(7) 作品展 (3月下旬～4月) 会場：地区公民館

冬期間の学習成果の発表の場として、例年、作品展を実施しています。今年度は干支にちなんで、うさぎをモチーフにした様々な手芸を集め、展示する予定です。

3 グループ活動の一例

牧区高谷は、27世帯の集落です。この地区の「さざんか学級」は、ここ数年で学級生が減少し、現在は60代から70代後半の4人で活動されています。学習計画は、次のとおりです。

学習目標	仲間づくり
12月	計画づくり リース作り
1月	新年会 体操 (講師派遣)
2月	お手玉作り 防災頭巾作り (講師派遣)
3月	交流会参加 閉講式参加 反省会

12月のリース作りでは、身近なクズのつるを利用し、リボンや南天の実を持ち寄り、クリスマス風のリースを作りました。活動の後は、お茶を飲みながら楽しく歓談。学級生の方は「夏は畑仕事で忙しいが、冬は外に出られないので、集まるのが楽しみ」と話されていました。



リース作り

また、牧区雨露は、12世帯の集落ですが、この地区の「ろばた学級」は14人で活動されています。昨年度から男性も参加されるようになり、1月初旬には、恒例の書き初めをされました。隣近所が声をかけあって集まり、楽しいひと時をすごすことが、健康づくりにつながっています。



書き初め

4 おわりに

今後の課題としては、学級が無い地域に、職員が出向き、講座を実施することや、冬だけでなく通年事業として支援することなどが検討されています。地域における小さなグループを大事にして、学習の灯を消さないように、今後も支援していきたいです。

特集

山間地における



上越市教育委員会
公民館事業係
主任 小池 和美

1 はじめに

上越市牧区（旧東頸城郡牧村・平成17年1月に上越市と合併）は、長野県飯山市と隣接し、面積は61.35平方キロメートルの山間地です。区の人口は平成22年4月1日現在で、2,457人、そのうち65歳以上の人口は1,031人（41.96%）、世帯数は935世帯で、上越市の中でも高齢化、過疎化が進む地域です。

この地域は、旧村時代から公民館活動に熱心な土地柄で、婦人会活動も各集落で活発に行われてきました。雪に閉ざされる冬期間も、仲間づくり、健康づくりを目的に、各地区において、活動を活発に行うよう、公民館が働きかけ、「冬季婦人学級」として毎年実施されてきました。

そして、この事業は、上越市と合併して6年が経過しますが、牧区の特徴ある事業として、また男性の健康づくり、仲間づくりの促進を図るため、平成19年度からは「冬季出前学級」と事業名を変更し、継続されています。

2 冬季出前学級の趣旨、実施方法

平成22年度の冬季出前学級は、「冬季における地域での自主グループ活動をサポートし、閉じこもりがちな生活活動を改善することにより、健康の維持促進を図るとともに、活動を通じて地域の連帯感の高揚と生きがいの醸成を図る」ことを目的にしています。

牧区は山間地で、集落が点在していることから、区の中心部にある牧地区公民館に集まるのではなく、各集落において学級を作り、学習計画を学級毎に作成し、教育委員会の牧地区公民館担当者がそれを支援するという方法で実施しています。

公民館が行う役割は、提出された学習計画に応じて、講師を派遣したり、学級同士の交流や学習成果の発表の機会を設けたりすることなどです。

受講生の年代が主に高齢者という点から、市の保健師とも連携して講座を実施しています。

今年度は、公民館の呼びかけに応じた8学級が

参加しています。年々、住民の高齢化や女性の就労の増加などのライフスタイルの変化により、参加学級が減少しており、今後地域での自主活動グループの育成が課題となってきます。学級生は60代から80代の女性が主で、婦人学級から出前学級に事業名を変更し4年目ですが、男性が参加している学級は2学級です。

(1) 学級リーダー打合せ会（11月中旬）

まず、事業を始めるにあたり、学級リーダーの中でも中心的な役割を持つ人と、公民館担当者が打合せを行い、今年度の学習の取組の重点項目について協議します。

その後、地区公民館に各学級のリーダーが集まり、公民館担当者から、今年度の実施要項の説明や、学習内容についてお願いしたいことなどの連絡、意見交換を行います。

学級ごとにバラバラな活動を行うだけではなく、統一した内容を計画の中に組み込んでいき、地域に貢献している点が、この事業の特徴です。

例えば、防災頭巾を縫って、地元の小中学校などに寄贈する活動を行っています。今年度も防災頭巾を小中学校へ、またお手玉やうさぎの人形などを保育園へ寄贈することになり、取組み可能な学級は計画の中へ入れることになりました。

また、活動には、なるべく男性も参加してもらえるように配慮することや、地元の市営入浴施設「深山荘」を活用すること、干支のうさぎをテーマに作品を作ることなどが確認されました。



学級リーダー打合せ会

(2) 各学級において、目標と計画づくり

学級リーダー打合せ会で、実施計画書の様式が

実践記録 155 シリーズ

「ときめきめぐりあい推進事業(婚活支援)」を公民館で取り組む

小千谷市公民館 副参事 和田 顕雄

■人と人をつなぐ事業を展開したい

地域の結びつきが希薄になっている現在、公民館の本来の役割である地域コミュニティづくりの取り組みは重要性を増しています。地域の取り組みとして注目されるのが課題解決型の高齢者支援や環境保全などがありますが、「少子化・晩婚化」は全国的にも大きな社会問題となっています。公民館では「少子化・晩婚化」に歯止めをかけることを目的として、地域の人材を活用した取り組みを進めています。

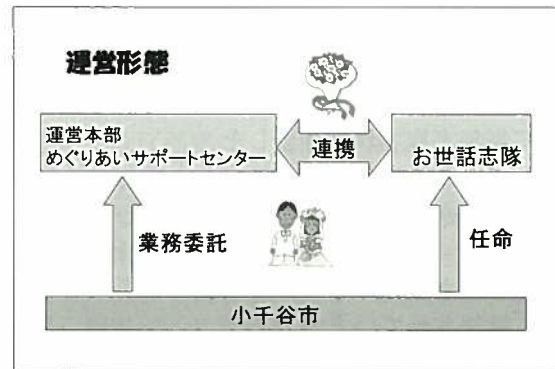
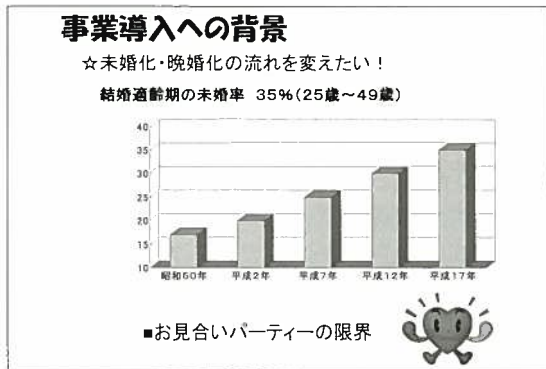


■事業導入の背景～未婚晩婚化の流れを変えたい

平成17年国勢調査では結婚適齢期年齢を25歳から49歳と規定した場合、適齢期の未婚率が小千谷市では35%となっており、急速に未婚化・晩婚化が進展しています。

■「事業成果及び現状」

平成21年9月から開始した取り組みの1月現在の活動状況については会員数：99名、お見合い回数：31回、交際進行中：10組前後、結婚成立数：4組となっています。



これまで多くの地域で実施していた「お見合いパーティー」には限界があります。これは、小さなコミュニティでは参加している自分を他の人に知られたくない思いが強く、特に女性の参加が期待できません。また、魅力的なパーティーを企画した場合でも、その企画を楽しんで終わりということが多々あります。

■さいごに...

これまで、行政が唯一の「公」であり、住民は公共サービスを受けるという構図が一般的でした。しかし、現在は、行政だけではなく、企業やNPO、市民などが協力して「新しい公共」を担うという考え方が広がっています。公民館はそうした取り組みを進めるにはぴったりの場です。

■地域・企業・団体から推薦された『世話焼きさん』のお世話志隊を結成

このため、男女の出会いの『世話焼きさん』として市長がお世話志隊を任命、隊員の皆さんは結婚を希望する男女をめぐりあいサポートセンターに紹介したり、会員からの相談やパートナー探しのお手伝いなどの活動をボランティアで行っています。地域でいろいろな情報を持つ『世話焼きさん』が活躍する場を提供することもこの事業の目的のひとつです。

この事業は未婚化・晩婚化に歯止めをかけることが主眼ですが「活気ある地域づくり」も大きな目的として位置づけています。お世話志隊の皆さんが地域の人たちとつながり、コミュニティの活性化が図れるとともに、市内各地で活躍する隊員のネットワークが構築されることも期待されます。

平均寿命が延び、会社勤めや子育てが終わった後も長い時間が残る時代です。地域で人と人がつながる場として「新しい公共」を担う人材による公民館の事業を考えていくことが重要です。

一本の糸から

あみものカトレア

あみものサークルを立ち上げて13年、小針青山公民館で毎週末曜午前に活動しています。一本の糸から一着のセーターが出来上がります。また次の作品へと夢が膨らみます。初心者からキャリアを重ねた者まで現在会員14名。指導者の元、手編の技術を習得し解らない所を聞き合って相互理解を深めています。作品発表の場は毎年公民館の文化祭の作品展に、それにファッションショーも試みました。

また地域の小学生が総合学習で見学、意外にもおばあちゃんが編み物をする姿を見



ているとって興味深く聞いかけてくれた事嬉しかったです。忘れかけている編みものもつと多くの人、子ども達にも広げなければと考えます。

小針青山公民館
あみものカトレア代表
伊藤 浩美 記

楽しく健康へ

レクダンス「萌の会」

健康づくりを目的に、14年前にレクダンス萌の会を発足致しました。

週1回の練習日には、30名の会員と、リズムに乗って、いい汗を流しています。演歌、ポップス、民謡調と



ジャンルの違う曲で、全身を使って踊った後の爽快さは格別です。

自分のために始めたダンスも市からの要請を受け、イベントや芸能のつどいに参加して発表の場となっています。

また、毎月数箇所の老人施設を慰問して、ダンスを披露し利用者の方々に大変喜んでいただき、その事が励みになり、張り切っている会員達です。

平均年齢65歳、会員同志の親睦を大切に、今後も歳を忘れて活動していく所存です。

阿賀野市保田「萌の会」
滝澤喜美子 記



今年度より、公民館担当として日々積極的に活動をしている加藤さん。新婚さんですが、土日・夜間を問わず精力的に事業をこなしています。

老婆心ですが、家庭の事をとっても心配しています。

公民館事業は、講座の見直しなど時代に即した様々な課題がありますが、加藤さんのフレッシュな考えで取り組んでもらいたいと思っています。

五泉市教育委員会 生涯学習課

主査 加藤 了さん



(五泉市教育委員会 生涯学習課
生涯学習係長 弦巻 好典 記)

三条市下田公民館勤務の蝶名林君を紹介いたします。平成17年5月の合併以来の勤務で6年目になります。長身でメガネをかけ、その奥の瞳は人なつこい眼をした力持ちの男性で、日ごろは「公民館の蝶さん」で通じます。業務は窓口対応や各種講座運営、施設管理を行っています。当館は平成20年2月に移転改築し、22年4月からは男性のみの職場となりましたが、利用される皆様の7割が女性です。

三条市下田公民館

副参事 蝶名林正身さん



彼は見かけによらず繊細な一面を持ち合わせており、花の咲く季節は館の入り口に花鉢を飾ったり、洗面所やキッチン等の汚れがちな所は常に来館者の目線に立ち清潔感保持の気配りをしたり、いつお出でになっても「新築時の状態を変わらずに」をモットーに頑張っています。

(三条市下田公民館長 坂井新太郎 記)

素顔拝見

Books information

社団法人全国公民館連合会お役立ちBooks情報

社団法人全国公民館連合会では、日本全国のみならず十分な社会教育を享受できるようにさまざまな資料を発行して公民館活動を応援しています。この機会にご利用いただいで関係者がかりて公民館における社会教育活動を活性化していただければ幸いです。

新刊!



【どんな本?】
公民館に関する法令として、教育基本法、社会教育法などのさまざまなものがあります。日常の業務で急に必要となったときに手に取れるよう手帳なB5サイズの1冊にまとめました。法令以外にも通達や照会・回答、答中なども網羅しているため、デスクに置いておきたい1冊です。

書名 公民館関係者必携
発行 社団法人全国公民館連合会
発行日 平成22年3月1日
仕 様 B5判 / 501ページ / ISBN 978-4-904-68702-4
価 格 2,100円(税込)



【どんな本?】
「公民館ってどんなところ?」「公民館のしごとをもっと知りたいたい!」公民館で働いている人、これから公民館で働く人たちが必携の1冊です。好評だった初版に平成20年の社会教育法改正を反映した改訂版です。

書名 よくわかる公民館のしごと
発行 社団法人全国公民館連合会
発行日 平成21年6月1日
仕 様 B5判 / 238ページ / ISBN 978-4-904-68700-0
価 格 2,100円(税込)



【どんな本?】
公民館は災害時において、避難所として大きな役割を果たしてきました。しかし、その対応は突然であり想定外のことも少なくありません。本書を活用し、突然訪れる「その時」に備えてください。

書名 公民館における災害対策ハンドブック
発行 社団法人全国公民館連合会
発行日 平成18年12月1日
仕 様 B5判 / 149ページ / ISBN 978-4-904-68701-7
価 格 1,050円(税込)

問い合わせ
新潟県公民館連合会
電話・FAX 025-224-6073

Net work ネットワーク

公民館総合補償制度

23年度の受付が始まります。

平成23年度「公民館総合補償制度」の受付が4月15日から始まります。

この補償制度は、公民館が関係する①行事障害補償制度②賠償責任補償制度③職員災害補償制度からなる3つの補償制度です。本会では、多くの公民館利用者のみなさまが安心して活動していただけるよう加入をおすすめしています。



新潟県では現在22市町村261館が加入していて、21年度では126件5,911,200円の支払いを受けました。2月中旬にはすべての市町村教育委員会に「公民館総合補償制度の手引き」が送付されます。この機会に本補償制度への加入をおすすめします。

訂正とおわび
本誌2011年1月号に掲載された「入村 明」の誤りがありました。入村 明とさせていただきます。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫言申し上げます。

あ
と
が
き

事務局長のつぶやき
「今年の夏は記録的な猛暑となった。ところが、今冬は大雪が予想されている。各地で除雪作業が忙しそうだ。雪が降り始めると、除雪作業は始まる。雪が降り始めると、除雪作業は始まる。雪が降り始めると、除雪作業は始まる。」

地すべり被害を未然に防止するため取り組んでいます

協議会会員12市町では国土保全を念頭におき、地すべり地域の保全と自然環境の保護及び地域振興のため、農業・農村整備事業による地すべり防止対策と関連事業による農業並びに生活基盤の改善を主要施策として積極的に取り組んでいます。

新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会

会長(妙高市長) 入村 明(会員12市町)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟県市長会内)

TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135